



よりよい学校目指して

2月9日に、児童会役員立会演説会及び児童会選挙がありました。自分たちで学校の代表を選ぶことを通して、学校生活をより楽しく、より豊かにしていくのは子どもたち自身であることの自覚を高める機会としてきました。

その運営は3年生以上で組織された選挙管理委員会があたり、選挙の告示、演説会の会場準備・司会進行等の仕事をてきぱきやっていました。役員立候補者は、決められた期間の中で、朝の活動や休み時間に責任者と一緒に各教室を周り、「自分はどんな学校にしていきたいのか。そのためにどんなことをしていくのか」を演説したり、ポスターに表したりして思いを伝えてきました。また、立候補者を支援する活動を学級全体で取り組んだ学級もありました。

演説会当日は、選挙管理委員会のスムーズな進行、立候補者の素晴らしい演説、そしてそれをしっかり聞いている投票者の3者によってとてもいい演説会となりました。特に、1・2年生のしっかり聞いている姿が印象的でした。

「みんな笑顔に」

2月初め、学校の諸問題を代表委員会で解決を図ろうと児童会書記局が動き出しました。書記局が「困ったこと」アンケートをとったところ、休み時間の遊び方など様々な「困ったこと＝問題」があったようです。それをもとに書記局で話し合った結果、一つ一つ解決を図るのではなく、児童会の目標の一つである「みんなが笑顔になれる学校」の実現に立ち返ることになったそうです。

「みんな笑顔に」を実現するために、書記局は次のように考え、実行しようとしています。

まず、2月22日に、代表委員会を開催し、書記局が目的や取り組みの説明をし、受けた説明を各代表者が学級で説明するようにしました。これによって、「みんな笑顔に」の書記局の考え方を一人一人に伝えることになります。

次に、書記局で「みんな笑顔に」のポスターを作り、掲示することにしました。これは、さらに子どもたち一人一人に「みんな笑顔に」を浸透させる取組です。

そして、最後に、代表委員会のメンバーである児童会書記局、委員会の代表、学級の代表が「みんな笑顔に」なる行動を起こすということです。代表委員一人一人がまず「みんな笑顔に」なる行動をし、それをどんどん広げて、やがては学校全体のものにしようとする考え方です。目指す姿を共有し、一人一人のいい行動でみんなを変えていこうとする取組です。まず「行動（実践）ありき」ですから、すぐやれます。誰でもやれます。みんなが笑顔になれると思うことをすればいいのですから…。

この新しい子どもたちの取組に拍手です。まさに「しっかり考え、進んで行動する子」という学校教育目標に直結する活動です。学校を良くしていくのは、私たちも含めて一人一人の行動ですから…。今後の展開が楽しみです。わくわくします。

感謝を伝えよう

2月を終え、6年生にとってははいよいよ中学校への進学が近づいてきました。同時に6年生とのお別れも近づいてきました。今まで掃除を一緒にしたり、委員会をリードしてくれたり、遊んでもらったりなど、1～5年生にはたくさんの6年生との関わりがありました。

今までお世話になった6年生に感謝を伝えるために6年生を送る会の準備を全校で取り組んできました。委員会の時間には、4・5年生が合同で飾り付けの準備をしたり、また、学年毎に分担して、企画をしたり、プレゼントやカードづくり等を行ったりしてきました。

3月1日には、それぞれの取組が、全校一つとなって6年生に感謝を伝えます。きっと6年生にとっても、在校生にとっても、思い出深い「6年生を送る会」になるに違いありません。

